

木次線について

提案内容	<p>「あめつち木次線導入検討」の山陰中央新聞記事を見ました。横田～落合駅間は走らないとのこと是非常に残念に思いました。</p> <p>さて、「出雲神話看板」の撤去は、市の承知の上の行いでしょうか。傷みあってのことと思いますが、何故塗り直し等の再生手段が取られないのか。私は不思議でならない。なぜなら、一方ではトロッコの存続をお願いし、一方では廃線を見越して(?) 早々事前撤収!と見えてならないからであります。今、テレビ欄を眺めていると鉄道番組が結構多いのに気づきます。1月20日には鉄道の危機を放送していました。それだけ、今、鉄道は注目を集めています。(私はほとんど見ています)折角、宣伝してくれているのに、逆行するような撤収行為にはどうしても納得できないのであります。JRはすでにこの行為に雲南市、奥出雲町の足許が見すこされています。誠に残念であります。もし、撤去、再生をお考えであれば提案してみたい。</p> <p>これまでのように神話に基づくものにするならば、木次線は本邦初婚活発祥の地沿線を走る。横田で稲田姫が求愛の箸を斐伊川に流し、これを木次の潜水橋付近で拾うスサノオ。これにちなんで、これをストーリーに駅の神話看板の文章をおもしろくしてはどうだろうか。(駅名は公募)そして婚約成就是、横田の稲田姫神社にし、結婚成就是須賀神社のゆかり2神社の初詣を大々的に宣伝し、定着させてはどうだろうか。</p> <p>関連追伸</p> <p>テレビ雲南夢ネットのテレビ画面の下に帯長の文字が流れますが、この文字放送の中に「雪のため木次線は運行取りやめ・・・」の文字が、運転再開後、何日も流れる。どうしてでしょうか。気が付かれていますでしょうか。木次線利用促進を進めている中、逆行しています。何とかありませんでしょうか。</p>
回答	<p>木次線に関するご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>まず、神話看板の撤去及び修繕についてでございます。神話看板については、JR木次線沿線市町等で構成する「木次線利活用推進協議会」の前身の団体であります「木次線強化促進協議会」で藤岡大拙先生監修のもと、設置してきたもので、雲南市、奥出雲町内で14カ所設置してございます。ご指摘のとおり、設置から10数年が経過したことから、看板を支えていた支柱の腐食が進み、倒壊するといった事案が発生しております。木次線利活用推進協議会では、令和元年度から全14カ所の神話看板の設置状況の点検作業を行い、JRと協議した結果、JR敷地内への設置には難色を示されているため、市町所有の駅舎への張り替え等の作業を実施してきております。しかしながら、腐食の激しいもの、再設置に適した箇所が駅周辺に見当たらないものにつきましては、止むなく撤去したのもございます。現在のところ10の駅で神話看板をご覧いただける状況にあり、引き続き、保存に努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。また、ご提案いただきました内容につきましては、木次線利活用推進協議会で検討し、更なる利用促進に努めてまいります。貴重なご提案ありがとうございます。</p> <p>データ放送のスクロールの件につきましては、運転再開後も「運行取りやめ」というスクロールが流れているというご指摘ですが、雲南市内の木次線運転再開後も、出雲横田駅から備後落合駅間が雪のため運転を見合わせていたため、その間は「運行取りやめ」がスクロールに流れているという状態でした。スクロールのところをクリックしていただくと詳細内容を確認していただくことができます。備後落合駅間までご利用の方もいらっしゃいますので、今後も全線の運行状況を周知してまいりますことにご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>(回答部署：政策企画部うなん暮らし推進課)</p>